

2017年2月



2017年4月4日(火)～5月28日(日)  
開催のお知らせ

本展は、2013年から資生堂ギャラリーで、毎年春に展覧会を開催してきた「第七次榎会」メンバーによる5回目で最後となる展覧会です。「榎会」は、戦後間もない1947年に、戦時中一時閉鎖されていた資生堂ギャラリーの活動を再開するにあたり企画されたグループ展です。以降、時代とともにメンバー構成を変えながら今日まで継続し、今年70周年を迎えます。

#### 〈今回の展示について〉

赤瀬川原平：初回到千円札にまつわる作品「ハグ」を発表した後、2014年から雑誌イラストや絵日記の連載を、90年代、80年代、70年代と時代を遡りながら展示してきました。本展では、60年代の梱包作品、50年代の自画像を展示する予定です。

島山直哉：これまで毎回異なった連作を発表し、さまざまなパーソナリティを見せてきました。今回は60～70年代に建設されたイギリスのニュータウン、テムズミードを撮影したシリーズに、当時の不動産広告のテキストを組み合わせた作品と、今年1月に撮影した赤瀬川原平のアトリエの写真を展示する予定です。

内藤礼：2013年の初回から同じテーマにじっくり取り組み、少しずつ変化していく「color beginning」、「ひと」、水を満たした瓶に花を生けた「無題」などの作品を展示予定です。

伊藤存：刺繍、ドローイング、アニメーションの手法でイメージの拡散と連鎖を試みてきましたが、今回は、新たな方法で制作する刺繍作品と粘土絵を展示予定です。

青木陵子：無意識の状態を意識して描いたり、他者とのかわりから作品を作ったり、多様なアプローチで制作してきました。今回は、「絵を描く」ことを再考察して実験的に取り組んだ新作ドローイングを展示する予定です。また、ワークショップを行ってzine(冊子)を作ります。

島地保武：榎会では即興的な作品を発表してきましたが、今回は振付作品を創作し、酒井はなのユニット、altneu(アルトノイ)で発表します。また、ギャラリーでは新たな造形作品を展示するとともに展示会場でのダンスも披露する予定です。

第七次榎会最後としてひとつの区切りを迎える今回の展示、ぜひご期待下さい。

## 〈第七次椿会について〉

第七次椿会は、2013年に赤瀬川原平、畠山直哉、内藤礼、伊藤存、青木陵子の5名で結成されました。展覧会では毎回、新作、もしくは未発表の作品を展示してきました。2015年には前年の赤瀬川原平の逝去にともない、新たなメンバーとして島地保武（ダンサー・振付家）が加わりました。椿会で初となるパフォーマンス・アーツの分野からの参加で、新たな風を吹き込みました。赤瀬川原平においては、2015年以降も作品を展示することで他のメンバーとともに存在感を示してきました。

## 〈サブタイトル「初心」について〉

「初心」というサブタイトルは、「3.11」から復興していく過程において、初心を問い直す時期にあるのではないかとメンバーと共に話し合い、決めました。「初心」とは、「何かをやろうと思いついた当初の純真な気持」（三省堂『新明解国語辞典』より）。「初心忘るべからず」は、芸の知恵を説いた世阿弥の書に、人生の様々な段階において未経験のことに挑戦していく心構えであることと記されています。展覧会のロゴは、常に「初心」に立ち返る象徴として、グラフィック・デザイナーの仲條正義が毎年新たにデザインしています。

---

## ■ 出展作家 プロフィール

### 赤瀬川 原平（あかせがわ げんぺい）

1937年横浜市生まれ。2014年逝去。画家。作家。路上観察学会会員。前衛芸術家。美術史に残る千円札裁判の被告、イラストレーターなどを経て、1981年『父が消えた』（尾辻克彦の筆名）で第84回芥川賞受賞。1989年には映画『利休』の脚本を勅使河原宏と共同執筆し、日本アカデミー賞脚本賞受賞。著書に『新解さんの謎』（文春文庫）、『超芸術トマソン』『老人力』（以上、ちくま文庫）、『世の中は偶然に満ちている』（筑摩書房）、『ライカもいいけど時計がほしい』（シーズ・ファクトリー）など多数。「老人力」は1998年の流行語となる。近年の主な展覧会：2008年「氾濫するイメージ 反芸術以後の印刷メディアと美術 1960's-70's」うらわ美術館；2010年「赤瀬川原平写真展—散歩の収穫」横浜市民ギャラリーあざみ野；2012-13年「TOKYO 1955-1970／新しい前衛芸術」ニューヨーク近代美術館；2013年「ハイレッド・センター：『直接行動』の軌跡」名古屋市美術館、渋谷区松濤美術館；2014年「尾辻克彦×赤瀬川原平 文学と美術の多面体展」町田市民文学館ことばらんど；2014-15年「赤瀬川原平の芸術原論展—1960年代から現在まで」千葉市美術館、大分市美術館、広島市現代美術館。

### 畠山 直哉（はたけやま なおや）

1958年岩手県陸前高田市生まれ。東京在住。筑波大学芸術専門学群にて大辻清司に師事。1984年に同大学大学院芸術研究科修士課程修了。以降東京を拠点に活動を行い、自然・都市と写真のかかわり合いに主眼をおいた、一連の作品を制作。2001年に中村政人、藤本由紀夫とともにベネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館にて展示。2011年に東京都写真美術館で個展「畠山直哉 ナチュラル・ストーリーズ」（平成23年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞）を開催。2012年、ベネチア・ビエンナーレ国際建築展の日本館に参加（国別参加部門金獅子賞受賞）。2016-2017年、せんだいメディアテークで個展「畠山直哉写真展 まっぴたつの風景」を開催するなど、国内外の数々の個展・グループ展に参加。

### 内藤 礼（ないとう れい）

1961年広島県生まれ、東京在住。1985年武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業。1991年、佐賀町エキジビット・スペースで発表した「地上にひとつの場所を」で注目を集め、1997年には第47回ベネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館にて同作品を展示。主な個展：1995年「みごとに晴れて

訪れるを待て」国立国際美術館；1997年「Being called」カルメル会修道院（フランクフルト）；2005年「返礼」アサヒビール大山崎山荘美術館；2007年「母型」入善町 下山芸術の森 発電所美術館；2009年「すべて動物は、世界の内にちょうど水の中に水があるように存在している」神奈川県立近代美術館 鎌倉；2014年「信の感情」東京都庭園美術館など。パーマネント作品として2001年「このことを」家プロジェクト『きんざ』(直島)、また2010年には豊島美術館にて「母型」を発表。2015年には30年にわたる仕事を包括した作品集『内藤礼 | 1985-2015 祝福』(millegraph)が刊行された。2017年フランス、パリ日本文化会館で個展「émotions de croire」を開催。

### 伊藤 存 (いとう ぞん)

1971年大阪府生まれ、京都在住。1996年京都市立芸術大学美術学部卒業。刺繍の作品をはじめとして、アニメーション、ドローイング、彫刻作品を制作。2003年にワタリウム美術館で個展「きんじよのはて」を開催。主なグループ展：2006年「3つの個展：伊藤存、今村源、須田悦弘」国立国際美術館；2009年「Louisa Bufardecchi & Zon Ito」シドニー現代美術館；2010-11年「プライマリー・フィールドⅡ：絵画の現在 — 七つの〈場〉との対話」神奈川県立近代美術館 葉山；2011年「世界制作の方法」国立国際美術館、2012年「別府のミミック」(KASHIMA 2012 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE 滞在制作成果展)；2013-14年「Now Japan」Kunsthall KAdE (アメルスフォールト)；2013年「磯部湯画廊／磯部湯活用プロジェクト」旧磯部湯 (前橋)；2015年「知らない都市—INSIDE OUT」京都精華大学ギャラリーフロール；「山／完全版のいきいきセンター」京都市立芸術大学ギャラリー@KUCA；「SOMETHINKS」アートラボはしもと；2015-2016年「Two Sticks」Think Tank Lab Triennale, ヴロツワウ、ポーランド；2016-2017年「この世界の在り方 思考/芸術」芦屋市立美術博物館など。

### 青木 陵子 (あおき りょうこ)

1973年兵庫県生まれ、京都在住。1999年京都市立芸術大学大学院ビジュアルデザイン科修了。動植物や日常の断片、幾何学模様などをイメージの連鎖で描き、その素描を組み合わせた作品を発表。主な個展：2002年「クリテリウム51」水戸芸術館現代美術ギャラリー；2005-06年「HAMMER PROJECT Ryoko Aoki」ハマー美術館 (ロサンゼルス)；2010年「ワイルドフラワーのたね」オン・サンデーズ。主なグループ展：2007年「ドクメンタ12」(カッセル)；「夏への扉—マイクロポップの時代」水戸芸術館現代美術ギャラリー；2009年「ウインター・ガーデン」原美術館；2010年「絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から」国立国際美術館；2014年「拡張するファッション」水戸芸術館現代美術ギャラリー、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館；2014年「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画：クロニクル1995—」東京都現代美術館；2015年「トレッドソン別邸のため」Troedsson Villa 日光；「Wabi Sabi Shima, from the aesthetic of Perfection and Chaos in the Japanese archipelago」Thalie Art Foundation ブリュッセル；「アーティスト・イン・レジデンス 須崎 現代地方譚3」高知県須崎市；2015-2016年「Two Sticks」Think Tank Lab Triennale, ヴロツワウ、ポーランドなど。

### 島地 保武 (しまじ やすたけ)

1978年長野県生まれ、神奈川県在住。日本大学芸術学部演劇科演技コースに入学。モダンダンスに出会う。加藤みや子に師事。2004年から2006年までNoism (新潟市)に所属。2006年から2015年までウィリアム・フォーサイス率いるザ・フォーサイス・カンパニー (ドイツ・フランクフルト)に所属。2013年酒井はな+島地保武によるユニット、Altneu (アルトノイ)を結成。2015年に帰国後、Noism2に『かさねのいろめ』を演出・振付。Shimaji Project を立ち上げ、フォーサイス・カンパニーのメンバー2人を招き原美術館で『glimpse ミエカクレ』、神奈川近代美術館 葉山にて『身奏/休息』を発表。また、神奈川近代美術館 鎌倉館でAltneuで『身奏/記憶』葉山館にて『身奏/始点』、新国立劇場にて『近松リポーターズ』を発表する。2016、2017年には環ROYと共作共演で『ありか』を発表。

---

## ■「椿会展 2017 - 初心 -」開催要項

主催:株式会社 資生堂

会期:2017年4月4日(火)~5月28日(日)

会場:資生堂ギャラリー 入場無料

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下1階

tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951 URL: <http://www.shiseidogroup.jp/gallery>

平日 11:00~19:00 日・祝 11:00~18:00 毎週月曜休

---

## ■関連企画

### 1. Altneu (島地保武、酒井はな) パフォーマンス

日時:5月14日(日) 15:00~16:00

会場:花椿ホール(中央区銀座7-7-5 資生堂銀座ビル3階)

定員80名 参加費無料(お申込み多数の場合は抽選となります)

お申込みは3月下旬より資生堂ギャラリーウェブサイト <http://www.shiseidogroup.jp/gallery/>にて  
ご案内予定です。

お問合せ: tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

### 2. 内藤礼 ギャラリートーク

事前に募った皆様からの質問にお答えします。

日時:5月24日(水) 18:30~20:00

会場:ワード資生堂(中央区銀座8-8-3 東京銀座資生堂ビル9階)

定員80名 参加費無料(お申込み多数の場合は抽選となります)

お申込みとご質問の受付は3月下旬より資生堂ギャラリーウェブサイト  
<http://www.shiseidogroup.jp/gallery/>にてご案内予定です。

お問合せ: tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

### 3. Zine ワークショップ

詳細は、資生堂ギャラリー・ウェブサイトにてお知らせいたします。

### 4. 島地保武 ギャラリーでのパフォーマンス

詳細は、資生堂ギャラリーTwitterでお知らせいたします。

■ 展示予定作品

①

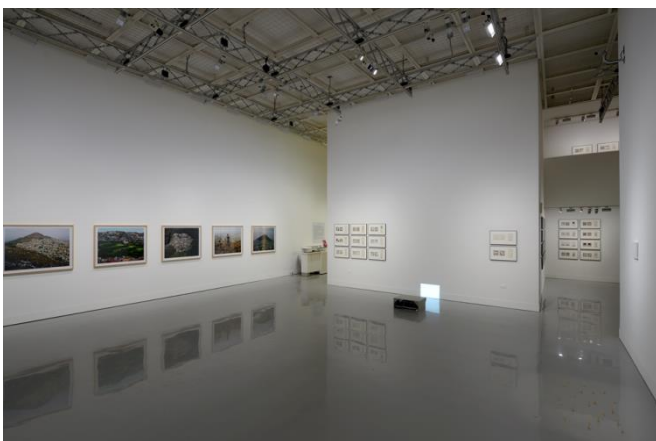


②



■ 参考写真（「椿会展 2016—初心—」会場風景）

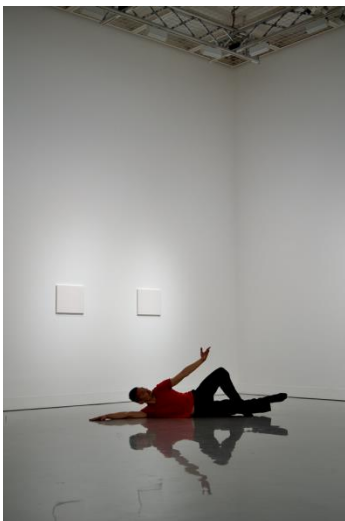
③



④



⑤



写真クレジット

- ① 島山直哉 「Thamesmead」より 2010年（展示予定作品）
- ② 島山直哉 「赤瀬川さんのアトリエ」より 2017年（展示予定作品）
- ③④⑤ 「椿会展 2016—初心—」会場風景 撮影：島山直哉

■ 写真資料請求は下記までお願いします。  
資生堂ギャラリー 担当：永田・大橋  
tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951  
(11:00~18:00 月曜休)  
e-mail: ayako.nagata@to.shiseido.co.jp  
noriko.ohashi@to.shiseido.co.jp

■ 本展に関するお問い合わせは下記までお願いします。  
104-0061 東京都中央区銀座7-5-5  
株式会社 資生堂 企業文化部 担当：豊田  
tel. 03-3575-5419 fax. 03-3575-5429  
(10:00~17:00 土日祝休)  
e-mail: keiko.toyoda@to.shiseido.co.jp